

「縁」



岐南町保険年金課長

岩田 恵司

「健康づくり・趣味について」「国保の業務に携わり感じる」との原稿の依頼を受け、何について書こうかなと思いつきながら、自分の経歴を振り返ってみると、入庁して約30年の月日が経ち、2階以上で執務をしたのは、建設課で2年、企画財政の統計（国勢調査）で1年のみで、あとは1階、すなわち、住民対応、国保・介護・年金・後期高齢・老保・福祉・社協・税務等に従事し、今回原稿依頼をいただいた「国保連合会さん」とも、直接の担当者として、国保で6年、介護で6年、老保と後期医療で3年の長い付き合いとなり、何か「縁」を感じます。また、介護においては、平成12年の介護保険制度施行の前後に共同設置の認定審査会業務のために羽島市へ出向、平成17年の国勢調査の年に統計業務に、平成21年の制度開始時に後期高齢業務に、そして今回の平成30年度の国保改革など、節目の時に業務に携わってきたことにも、どこか「縁」を感じます。

次に、「健康づくり・趣味について」は、ウォーキングとか月1度のボウリング等をしていましたが、今はそれもなくなり、継続しているのは、ゴルフくらいとなりました。ゴルフとの出会いは、大学の教養課程の授業の打ちっ放しに行ったのが初めてで、入庁後に「縁」があり、事務研究会で知り合った他町の同年代の者と、年に1回ラウンドする程度でしたが、前述した羽島市出向時に、当時の上司に当たる方とのラウンドをして、同伴プレイヤーであったスポーツ店の社長とお知り合いになり、その「縁」で、以後コンペやプライベートのラウンドに誘っていただき、ついには、その方の勧めで会員権を購入するまでになりました。残念ながらその方は、平成25年にがんのため64歳の若さで手術中に他界され、コンペも自然消滅となりましたが、今なお、同コンペにて一緒にプレイした方と、引き続きラウンドをしており、ここにも「縁」というものを感じます。下手なりに月例会等の競技会にも参加させていただいており、2位と3位は幾度かありますが優勝がないので、

優勝をすることが願いです。最近はカートに乗ることも多くなり、カジュアル系ゴルフアールとして、楽しく、新しい「縁」の始まりとなり、健康づくりの一環になればと思っております。

国保については、これまた「縁」があって、平成22年に「岐阜県国民健康保険広域化等支援方針検討会」のワーキンググループ構成員に名を連ねて、主催者たる県職員には煙たがられていたとは思いますが、主に保険者の立場として、意見を述べさせていただきました。そして本年は、再び「縁」あって、「岐阜県国保改革対策検討会」のメンバーに名を連ねることとなり、引き続き意見を述べていければと思っております。

最後に、「縁」あって国保に携ってきた者として、平成30年の国保改革について一言二言私見を述べたいと思います。①平成29年4月13日付けにて要望があったように、岐阜県には、この先も制度が維持されるよう、リーダーシップをとって進めていただくことを期待します。立場が違えば意見も違います。例えば、現在を基準として30年度以降を照らした激変緩和について、同検討会において協議されていますが、見方を変え、30年度以降を基準としてとらえると、今まで多くの負担を強いられ、やりくりをしてきたことに對する支援金等の措置があっても良いとの考えもあります。全てを聞いては収拾がつかないのは周知のとおりであり、正にそこで期待されるのが、県のリーダーシップであると感じます。②市町村の立場から言わせていただくと、スケジュールの遅れが酷いと感じます。納付金確定後、国民健康保険運営協議会での協議、条例改正を含めた議会対応、住民への説明等の難題が山積し、本当に平成30年4月より新制度が開始され、運営されていくか危惧しています。ぜひとも「縁」あって関わりを持たせていただいた国保が、この先も維持され、「エ、エーン」とならないことを願って終わりとさせていただきます。